

修了生就職先業種一覧

工学研究科で培われた専門分野での確かな能力や人間性が社会で評価を受け、さまざまな分野で活躍しています。

学科 分野	機械工学専攻	電気工学専攻	電子工学専攻	環境建設工学専攻
これまでの就職実績	製造業 本田技研工業(株) スズキ(株) ヤマハ(株) オリエンタルモーター(株) (株)フジクラ TOTO(株) ミネベアミツミ(株) ニダック(株)	電力・建設・製造業(エレクトロニクス) (株)日立産業制御ソリューションズ 東北電力(株) (株)川瀬電気工業所 東日本旅客鉄道(株) 東北電機製造(株) 光電子(株) (株)アルプス技研 NITTOKU(株) 三菱電機(株)	製造業(エレクトロニクス) ソニーセミコンダクタ マニフアクチャリング(株) ソニーストレージメディア マニフアクチャリング(株) 日本テキサス・インスツルメンツ(株) 凸版印刷(株) アルプスアルパイン(株) (株)トーキン	建設/設計 (株)エムテック (株)オオバ 鹿島建設(株) (株)共同技術コンサルタント (株)熊谷組 国土防災技術(株) 佐藤工業(株) (株)サンユウシビルエンジニアリング 清水建設(株) ショーボンド建設(株) (株)水機テクノス (株)関・空間設計 仙建工業(株) セントラルコンサルタント(株) (有)SOY source建築設計事務所 大成建設(株) 大日本コンサルタント(株)
	製造業(エレクトロニクス) アルプスアルパイン(株) 凸版印刷(株) キヤノン(株) TDK(株)	情報通信・サービス NECソリューションイノベータ(株) 凸版印刷(株) 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 NECプラットフォームズ(株) 京セラコミュニケーションシステム(株) (株)パナソニックシステム ネットワークス開発研究所 (株)ドコモCS東北	製造・建設業 愛知製鋼(株) トヨタ自動車東日本(株) 東芝デベロップメントエンジニアリング(株) 日本原燃(株) キヤノンアネルバ(株)	ほとんどの修了生は建設/設計業を希望し、就職しています。
就職活動先の主な業種	◎建設/設計 ◎電気/エネルギー ◎情報通信 ◎交通/運輸 ◎サービス・その他 ◎研究・教育機関 ◎官公庁	◎電気/エネルギー ◎製造業 ◎交通/運輸 ◎サービス・その他 ◎研究・教育機関 ◎官公庁	◎電気/エネルギー ◎建設/設計 ◎情報通信 ◎研究・教育機関 ◎進学 ◎サービス・その他 ◎官公庁	◎交通/運輸 ◎不動産 ◎官公庁 ◎進学 ◎サービス・その他
進路決定率	2021年度進路決定率 100%	2021年度進路決定率 100%	2021年度進路決定率 100%	2021年度進路決定率 100%

学費・各種支援制度

奨学金をはじめとする経済支援や社会人の受け入れ、早期修了制度など、万全なサポート体制を整備。大学院生をさまざまな面でバックアップする支援制度で、研究に打ち込める環境づくりに取り組んでいます。

学費 (単位:円/2022年度入学生)

	本学卒業の入学者	本学以外からの入学者
学生納付金	入学金	—
	授業料	640,000
	施設設備資金	230,000
	実習料	95,000
	教育充実費	20,000
	計	985,000
諸会費	工学会費	500
	後援会費	16,000
	同窓会入会金	—
	同窓会費	3,000
計	19,500	
合計	1,004,500	1,277,500
入学時納付金	512,000	785,000
後期(10月)納付金	492,500	492,500



大学院、内部進学・外部進学を比較するならトータル費用と生活環境に注目を!

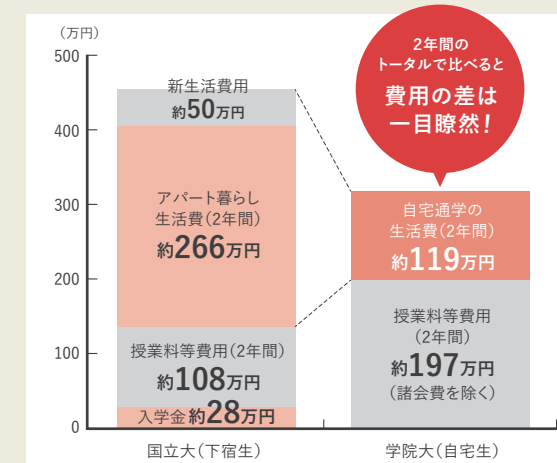
在学期間のトータル費用に大きな差

内部進学か外部進学かの選択で、まず判断材料になるのは費用の差です。比較のポイントは、入学準備費や生活費も含め、在学期間のトータルで考えること。本学の自宅生が内部進学した場合と、他県国立大学の大学院へ進学した場合で比較すると、**内部進学は入学金が不要で転居や1人暮らしの費用がかからず、2年間で大きな差が表れます。**

仙台を研究生活拠点にするメリット

都心部に新設した本学のアーバンキャンパスは、仙台の都市機能をフル活用できる環境です。情報集積や人材交流など**研究拠点としての機能性だけでなく、生活環境としての効率性も優れています。**アルバイトや買い物など日常に関わる施設が近辺に充実し、学会参加など全国へのアクセスもしやすく、結果的に無駄を省いて出費を抑えられます。

「自宅生(本学工学研究科進学)」と「下宿生(他県国立大大学院進学)」の比較例



費用詳細 (単位:円) ※諸会費除く

	他県国立大	本学
入学金	282,000	0
1年目授業料	535,800	640,000
1年目施設設備使用料	0	230,000
1年目実習料	0	95,000
1年目教育充実費	0	20,000
2年目合計	535,800	985,000
新生活費用	496,700	0
2年間生活費	2,658,800(アパート)	1,186,200(自宅)
2年間総費用合計	4,509,100	3,156,200

※2021年度 全国大学生生活協同組合連合会調べ/2020年度 独立行政法人日本学生支援機構調べ

※各年の諸会費については大学により差があり、私立大よりも国立大の方が高いケースもあります。本学の諸会費(1年間)は19,800円となります。

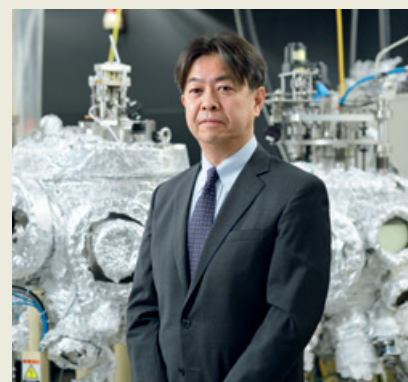
工学研究科長メッセージ

さあ、自分の未来を切り拓くために大学院に進学しよう!

大学入学後の4年間は社会生活を豊かにする学び、すなわち基礎的な教育に重点を置くことが求められ、工学系の醍醐味である『研究・開発』を行うために多くの時間を割くことは困難です。しかしながら、大学院では『研究・開発』が中心であり、集中して打ち込むことが可能になります。大学院進学後、研究を発展させるためには、その研究テーマに関連した多くのことを学び、習得しなければなりません。高度な専門知識を吸収しながら自発的創造が求められるのです。大学院では、学外での学会・研究会発表を義務づけています。これまで、国内学会発表だけでなく、国外で開催される国際会議で発表した大学院生も多数おり、また研究奨励賞・優秀プレゼンターなどを受賞した大学院生も数多くいます。学外で研究発表を行うということは、他大学の大学院生、教員や企業の研究者の発表も聴講でき、その研究内容

の理解・習得だけでなく、プレゼンテーションの勉強にもなります。さらに企業の研究者のみならず、国際会議では世界中の研究者との交流もできます。このような経験は、自分の未熟さに気付くだけでなく、今後自分はどうすればよいのかという指針・方針を構築することに繋がります。指導教授の研究指導の下、論文作成能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など、将来研究開発する上で必要な能力が身につきます。また、多くの企業において研究・開発に携わっているのは、大学卒ではなく大学院卒の人です。大学院はこれまでよりさらにワンステップ上がって自分を磨き、楽しみ、研究に大切なことが経験できる場です。是非進学し、高度な教育を体系的に学び、研究を発展させて下さい。そして、一連の研究プロセスをしっかりと経験・理解した技術者として修了し、同期の

仲間から大きく抜き出るような成長を遂げることを願っております。大学院への進学は人生の中で自分の実力を養成、発揮できる数少ないチャンスです。自分の人生をデザインし、切り拓くためには、大学院への進学が必要不可欠です。



工学研究科長 嶋 敏之